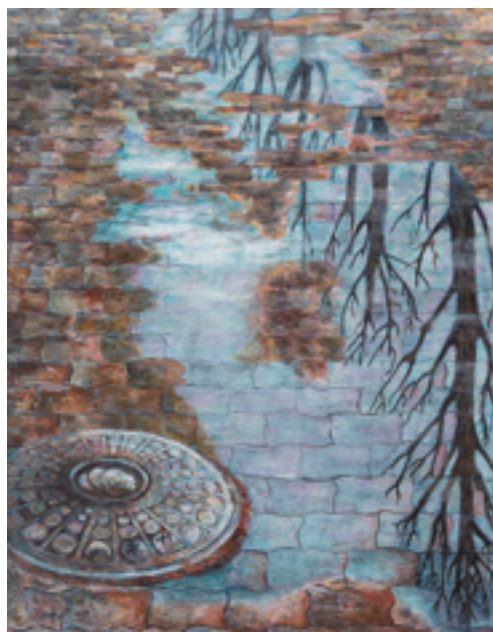


津市長賞



朝あけ・くもの巣
奥田 加代子

津市教育長賞



雨上がり 田所 妙子

岡田文化財団賞



ひかり
木下 ひなた

津市議会議長賞



刻・ルート66
三谷 健治

津市長賞



沈黙 森本 香

津市議会議長賞



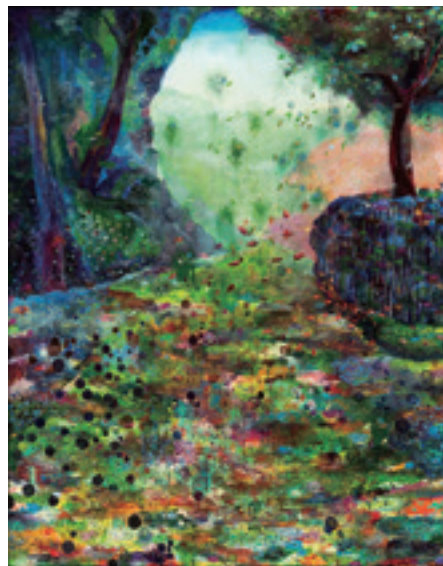
光り輝く煌き
里中 香史

津市教育長賞



未知の黙考
上村 貞一郎

岡田文化財団賞



風は知っている
西井 輝

津市長賞



あなたの輪郭は
日に日に曖昧になっていった
— 紫陽花 —
河邊 ありさ

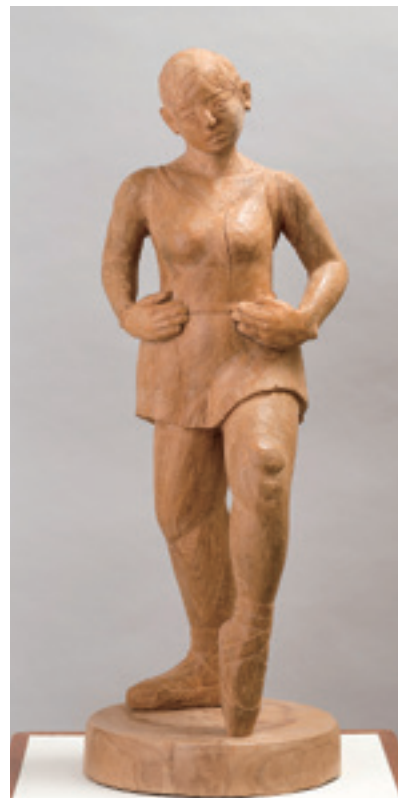
本作品は、本来映像を投影することで完成する作品です。しかし津市展における〈彫刻の定義〉に収まらないとのことで、本展では写真と文章で補完することにいたしました。

映像は母と幼い子供の会話の音声と、その会話に対応しながら変化する紫陽花の映像によって成り立っています。

本作品の動画はYouTubeにも投稿されています。お手数ですが下記のQRコード、もしくはYouTubeサイト内で「河邊ありさ」と検索し、ご覧いただければ幸いです。故郷である津市の文化の進歩と発展を心より願って、この作品を出品いたします。



津市議会議長賞



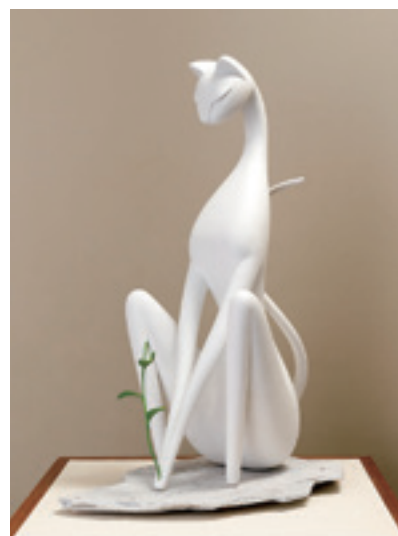
レッスンの合間
前田 義勝

岡田文化財団賞

寸草春暉
北岡 丈和



津市教育長賞
廃
木村 豪孝



はじめに、出品数の増加と若い方々の挑戦が見られ、立体彫刻作品への関心が高まったことを嬉しく思いました。審査では、制作姿勢と仕事量や完成度、作者の空間感覚とメッセージが感じられる作品を評価の観点としました。市長賞の作品は、新しい発表の方法の提案として評価しました。

各人のメッセージが、制作を通して現代社会に発信されることを目指して、空間創造の世界でお互いに頑張りましょう。

津市議会議長賞

津市長賞



藁灰白萩釉大鉢

中村 秋夫



翔馬

赤塚 敬一

岡田文化財団賞

津市教育長賞



DOGŪ — 1万年の時を超えて、今 —

桂田 孝二



花色絵大壺

宮本 匡



津市長賞

五月晴れ

森下 喜美子

津市議会議長賞



みつめる

佐竹 敦子

津市教育長賞



泣くが勝ち

池山 ふみ代

岡田文化財団賞



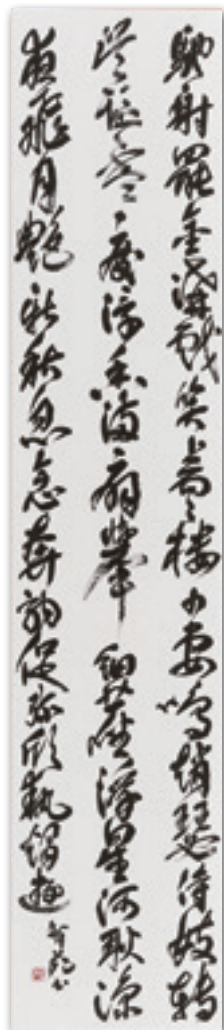
みーんな結ちゃんの

伊藤 輝代志

今年の出品点数は昨年に比べ19点減少したにも拘わらず、作品レベルは向上の傾向にある。内容はバラエティーに富んでいるが、ネイチャー作品の応募が少なく残念であった。

市長賞の「五月晴れ」は鯉のぼりをバックに遊ぶ子供達をローアングルで捉えたシャッターチャンスが素晴らしい。議長賞の「みつめる」は祭りの幕の継ぎ目を人間の目に見立てた抽象表現が印象的である。教育長賞の「泣くが勝ち」は力士の背後から撮影した泣き叫ぶ赤ん坊を適確に捉えたアングルが素晴らしい。

津市長賞



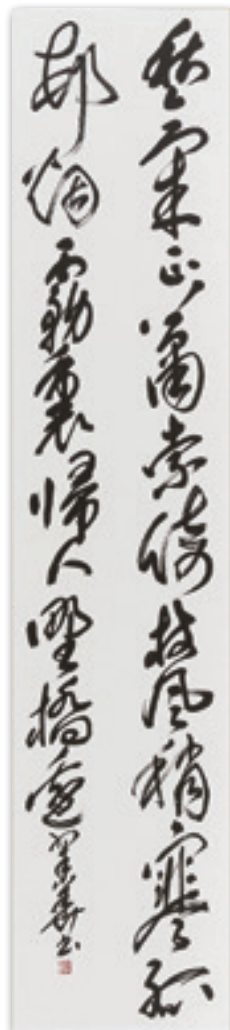
辛徳源詩
秦 智苑

津市議会議長賞



菜根譚詩
西村 皋風

津市教育長賞



良寛の詩句
中井 翠華

岡田文化財団賞

夜もすがら・・・
倉田 佳舟



審査査評

昨年より出品数が少なかったのは残念であったが全体的に力作揃いで見応えのある作品が多かった。書の生命は線質にあり、その線質を磨くのは古典の臨書である。臨書でしっかり鍛えた作品は鑑賞者の目をひく。類型化から脱皮し自己表現(個性)が出た作品は格調高い作品として鑑賞者を魅了する。